

ジンコソーラー、6種類の新製品を携えて SNEC 2018 に展示

2018年5月28日、世界をリードする太陽光発電会社ジンコソーラー (NYSE: JKS) は「丘を越えて、グリッドパリティを目指す」をテーマに、六つの新製品を携えて上海の 2018 年の SNEC 展示会に出展しました。今年の展示会で、展示されたものは新たに発売された Cheetah 410W のスーパー・トープランナーモジュール、リードしている 380 W P 型両面モジュール、全シリーズのハーフカットモジュール、金色の枠の「卓悦」シリーズモジュールがあります。その中で、Cheetah 410W 超効率モジュールは、グローバルで今まで商業化の量産を実現した一番高効率のモジュールタイプです。このシリーズのモジュールは



初めて、主流出力が 4.0 時代、即ち 400W 以上まで向上し、ジンコソーラーは「中国スーパー・トープランナー」など究極の高出力市場のために作ったものです。ジンコソーラーは 2018 年の核心理念は技術突破で、新たな Cheetah シリーズは典範の作です。該当シリーズのモジュールは初めてジンコソーラーの P5 スーパースマート工場で誕生し、目前のグローバルモジュールの製造のトップレベルを代表しています。Cheetah モジュールは、新しいシリコンと電池の設計を採用し、功率、減衰、陰影の遮るに抵抗すると信頼性などの各方面で、いずれも業界のトップに立っています。スーパー・トープランナーモジュールの新しいマークとなりました。目前、ジンコソーラー Cheetah 72 セルモジュールの最高出力は 410W に達し、同類製品より 30W 以上高く、モジュールの変換効率は 20.38% に達し、特に、スーパー・トープランナーなどの高技術要求及びグローバルでの大型メ

ガソーラープロジェクトの需要に適用します。

それ以外、グリッドパリティ時代の旗艦製品として、ジンコソーラー製のハーフカットシリーズモジュールはすでに人気な製品となりました。ハーフカットモジュールの優位性は高くコストパフォーマンス、陰影の遮るに抵抗できるなどで、通常と同類モジュールより、平均の出力が 5-10W を高く、そして、地面、分散型、住宅市場など色々な場合でも使用できます。その中で、ジンコソーラーの単結晶 72 セルハーフカットモジュール、最高の出力は 385 W まで向上し、変換効率は 19.53% まで達し、高効率と実用性を保証できます。産業用で人気な N 型両面モジュールと P 型両面モジュールという、ジンコソーラーも業界で唯一の二つの製品を提供する第一線のメーカーです。同社の 380W 単結晶 P 型 72 セル両面モジュールは再び技術で皆さんの認知を更新しました。一般的に、モジュールが水平またはほぼ水平に近い角度で取り付けます。しかし、両面モジュールは初めて垂直の設置方法を実現しました。設置面積を節約する同時に、両面発電も実現しました。それより、応用分野を広げ、高架のガードレール、ガラス屋、日光房、BIPV などに設置できます。地上反射によって、追跡式の支柱を合わせて、単面モジュールよりも 5-25% の発電量を高めることができます。ジンコソーラー N 型 385W モジュールは P 型と同じ発電効果と特性を備え、さらに低減衰です。

住宅用市場に向け、ジンコソーラーは今回の展示会で初めて「卓悦」シリーズ金色枠の 330 W 住宅用モジュール (60 セル) を展示された。調査によると、住宅用の顧客に一定

の経済力があり、時代の最前線のライフスタイルを体験して、製品の個性化、品質化の需要が明らかになりました。「卓悦」シリーズは高効率（19.37%の変換効率）と優雅な外観の美学のデザインで、住宅用市場の要求に満足できます。

それ以外、「無枠」、「ダブル PID」の特性を主役する 335W のジンコソーラーブラックシリコン多結晶両面ガラスモジュールは業界で注目されています。同シリーズのモジュールは特に蒸し暑い地区に適します。

「新たな挑戦に向け、ジンコソーラーは既に準備完了しました。そして、今回の SNEC 展示会で、6つの新しい技術の製品を展示し、業界にハイエンドの光伏智造の新しい内包を解釈しました。革新的な太陽光発電技術の指導者として、ジンコソーラーはこれからも引き続きハイエンド技術の研究開発を推進し、太陽光発電産業の発電を促進します。」とジンコソーラーCEO 陳康平がコメントしました。

ジンコソーラー (JinkoSolar Holding Co., Ltd.) について

ジンコソーラー (NYSE: JKS) は太陽光発電産業のグローバルリーダーです。ジンコソーラーは中国、米国、日本、ドイツ、英国、チリ、南アフリカ、インド、メキシコ、ブラジル、アラブ首長国連邦 (UAE)、イタリア、スペイン、フランス、ベルギー、その他の諸国地域にあるさまざまな公益、商業、居住区顧客基盤に対し、自社ソーラー製品を供給し、自社ソリューションとサービスを提供、販売。ジンコソーラーは 2017 年 12 月 31 日時点で、垂直統合ソーラー製品バリューチェーンを構築して、シリコンインゴットとウエハーで 8.0GW、太陽電池で 5.0GW、太陽光発電モジュールで 8.0GW の年間総発電容量がある。

ジンコソーラーは世界で 8 ヶの生産拠点があり、日本（2）シンガポール、インド、トルコ、ドイツ、イタリア、スイス、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、チリ、オーストラリア、南アフリカ、アラブ首長国連邦、16 の海外子会社を持ち、販売チームはイギリス、ブルガリア、ギリシャ、ルーマニア、ヨルダン、サウジアラビア、南アフリカ、エジプト、モロッコ、加納、ケニア、コスタリカ、コロンビア、パナマとアルゼンチンに広がって、従業員が 1 万 2000 人以上を雇用しております。

〒104-0031

東京都中央区京橋二丁目 2 番 1 号京橋エドグラン 9 階

代表電話：03-6262-6009

FAX：03-6262-3339

ホームページ：<http://www.jinkosolar.com/index.html?lan=jp>